

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業 実施状況及び効果検証

No.	交付金対象事業の名称	所管課	補助 単独	事業の概要						効果検証		備考	
				目的	事業始期	事業終期	経済対策との関係	総事業費(実績額)	臨時交付金 充当経費	一般財源 補助金等	実績(活動) 対象や経費内訳等の具体的な数値等		評価(成果)
1	事業継続支援給付金事業	産業振興課	単独	新型コロナウイルスの影響により売上が前年同月比で20%以上減少した村内の中小企業(飲食業、旅館業、旅客業)、小規模事業者に対して、10万円を給付する。	R2.5	R3.2	事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	39,000,000	26,004,118	12,995,882	対象：新型コロナウイルス感染症の影響で前年同月と比較して20%以上売り上げが減少した村内の中小企業等 1事業者当たり10万円を給付 申請者：390件 交付金 @100,000円×390件=39,000,000円	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業等への支援として、即効性のある事業を実施できた。 村内事業者約700社に対して通知を行い、要件に該当する390社に対して交付金を交付した。 なお、申請書類等の精査が必要となるものの、交付申請書の受付から概ね1週間から2週間程度での早期対応を実現できた。	
2	子育て世帯臨時生活支援金事業	福祉課	単独	子育て世帯の生活安定及び児童の健全な育成を支援するため、国が実施する子育て世帯臨時特別給付金に村独自に1万円を上乗せして支給する。	R2.5	R3.2	生活に困っている世帯や個人への支援	29,150,000	20,116,519	9,033,481	対象：児童手当(本則給付)の対象者で、令和2年3月31日時点で、本村の住民基本台帳に登録されており、引き続き本村に居住する見込みのある方(平成16年4月2日から令和2年3月31日までに生まれた児童) 支給対象者数：2,915名 交付金 @10,000円×2,915名=29,150,000円	子育て世帯へ給付金を支給することにより、生活の安定に寄与するとともに、児童の健やかな成長に役立った。	
3	臨時生活支援金給付事業	福祉課	単独	新型コロナウイルス感染症の影響による失業や、休業等により、生活資金(緊急小口資金、総合支援資金)の貸し付けを受けた世帯に対し1世帯あたり5万円を支給する。	R2.5	R3.2	生活に困っている世帯や個人への支援	6,250,000	4,167,326	2,082,674	対象：申請日において西郷村に住居登録があり、緊急小口資金または総合支援資金の貸付の決定を受けた世帯 支給金額：1世帯あたり5万円 支給対象世帯数：125世帯 支給金額計：@50,000円×125世帯=6,250,000円	新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により生活に困窮し生活資金の借入れを受けた世帯に対し、経済的自立や生活再建を図り、安定した生活を送れるよう支援することができた。	
4	サーマルカメラ導入事業	総務課	県補助	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、各施設出入口やイベント開催時に、来場者の検温をこなうためのサーマルカメラを整備する。	R2.9	R3.2	検査体制の強化と感染の早期発見	3,319,800	85,800	3,234,000	対象：各庁舎へ来朝される方 庁舎、保健センター、児童館などの各施設の出入口やイベント開催時に来場者の検温を行うためのサーマルカメラを整備した サーマルカメラ機器購入費 ・ドーム型 4台 1,705,000円 ・タブレット型 12台 1,614,800円	公共施設利用者の体温チェックをすることにより、感染予防強化が図られた。イベント時などは、スムーズな受付ができ、待つ人の列など密を回避することができた。	
5	ふるさと学生応援事業	企画政策課	単独	新型コロナウイルス感染症の影響により、帰省等移動の自粛やアルバイト等による生活費の確保が困難となっている、西郷村出身で本村以外に居住する学生への応援品(主に食料品)を給付する。	R2.9	R3.2	生活に困っている世帯や個人への支援	1,126,005	750,788	375,217	対象：西郷村出身で本村以外に居住している学生 応援物資(食料品) 5,991円(税込) 米、らーめん、カレー、菓子 炊き込みご飯の素、はと麦茶 申請者数：140名 物資 @5,991円×140件=838,740円 チラシ印刷 @37.5円×900枚×1.1=37,125円 運搬費 150,140円 梱包・発送手数料 @500円×140件=70,000円 事務消耗品費 @30,000円	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、県を跨いだ規制等移動の自粛や、アルバイト等による生活費の確保が困難となっている西郷村出身の学生に対して、地域の産品等を含めた応援物資を給付することにより生活を支援することができた。 また、西郷村に対する愛着を高め、西郷村の関係人口を維持することに繋がった。	
6	Web会議ネットワーク整備事業	企画政策課	県補助	各施設において、会議や打ち合わせ時の三密を防ぐため、Wifi環境の構築、Web会議用端末を導入し、自席からWeb会議に参加できる環境を構築する。	R2.9	R3.2	リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	9,279,600	6,168,000	3,111,600	無線LAN環境整備 6,837,600円 Wi-Fiアクセスポイント設置・サーバリフレッシュ 庁舎・改善センター・文化センター・保健福祉センター内 26か所 ネットワーク構築 ネットワークVLAN改修 1式 L2SW改修 11カ所 拠点間インターネット改修 1式 Web会議用タブレットPC等購入 2,442,000円 タブレットPC 25台・会議用アプリZOOMアプリ 5ライセンス	構築したWi-Fi環境はWeb会議向けのほか、一般向けとして来庁者が無料Wi-Fiとして利用できるよう構築しており、災害時には設定を切り替えることにより避難者向けの無料Wi-Fiとしても活用でき、来庁者の利便性向上と避難所としての機能強化が図られた。	

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業 実施状況及び効果検証

No.	交付金対象事業の名称	所管課	補助 単独	事業の概要						効果検証		備考	
				目的	事業始期	事業終期	経済対策との関係	総事業費(実績額)	臨時交付金 充当経費	一般財源 補助金等	実績(活動) 対象や経費内訳等の具体的な数値等		評価(成果)
7	サテライトオフィス環境整備事業	企画政策課	県補助	保健センター及び地区集会施設(6箇所)に業務用ネットワークを付設し、それぞれの施設で分散業務を行えるよう環境を構築する。	R2.9	R3.2	リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	2,332,880	1,510,880	822,000	公民館等VPN回線整備 132,880円 出先調査のLAN配線改良 公民館等ネットワーク環境整備 2,200,000円 指定避難所を含む集会施設6箇所に 基幹系・LGWAN系・インターネット系・一般公開系の4セグメントが利用可能な通信機器を設置。 ・上羽太コミュニティセンター ・上野原農研研修センター ・米農林漁家婦人活動促進施設 ・下折口原地区集落センター ・大平コミュニティセンター	新型コロナウイルスの影響による政府の緊急事態宣言でテレワークや業務分散が求められたが、従来ではネットワーク環境が未整備だったため分散業務を行う事ができなかった。 サテライトオフィス環境を村内各集会所に整備したことで、こうしたパンデミックや自然災害等の緊急時等であっても、分散して行政サービスの提供を継続する事が可能となった。	
8	白河区域市町村圏整備組合負担金	財政課	単独	白河地方広域市町村圏整備組合の事業における新型コロナウイルス感染症対策備品の購入。(市町村負担金として支出)	R2.9	R3.2	マスク・消毒液等の確保	15,793,000	2,154,000	13,639,000	対象：西郷村民 白河広域市町村圏整備組合に対する負担金(西郷村分15,793千円) 総務管理費分 1,228千円 内容：事務所内感染防止対策にかかる物品、及び職員に感染者が出た場合の、事務所内消毒に必要な物品等(マスク、消毒液、飛沫防止パネル、ヘアキャップ、防護服等) 介護認定審査費 303千円 内容：審査会の開催に際し、感染防止対策にかかる物品等(マスク、消毒液、飛沫防止パネル、TV会議用ライセンス費用等) ごみ処理費 1,727千円 内容：管内に感染者が出た場合、収集車両、クリーンセンター、リサイクルプラザのプラットホーム等の消毒(マスク、消毒液、噴霧器、防護服、ゴム手袋) し尿処理費 182千円 内容：管内に感染者が出た場合、車両、清掃センター構内の消毒(マスク、消毒液、噴霧器、防護服、ゴム手袋) 常備消防費 12,353千円 内容：感染者やその疑いがある人を救急搬送した場合、次の出動までに車内、資機材の消毒が必要となるが、それらを速やかに行い、救急活動に支障を来さない体制を確保するためにオゾンガス式除染装置等を装備(オゾンガス式除染装置、救急車内積載用除染装置、体温計、防護服、飛沫防止カバー、シューズカバー、サージカルマスク等)	広域圏で行う行政事務(介護認定業務、ごみ収集・焼却、広域消防・救急業務)の事業継続のため、必要な物品等を購入し、感染予防対策を図った。特に救急搬送業務については、コロナ感染症予防の徹底を図ったことにより、救急活動に支障が出ない体制の整備が図れた。	
9	地域防災支援事業	防災課	単独	災害発生時に開設する避難所内での三密を避けるための簡易テント等の資材を導入し、集団感染リスクの低減を図る。	R2.9	R3.2	マスク・消毒液等の確保	3,219,168	2,146,451	1,072,717	コロナ禍における避難所運営の為に物品 避難所用簡易テント330張 LLヒートレスカレー 30ケース LLヒートレスシチュー 5ケース 安心米 20ケース 非常用飲料水 220ケース	利用者間のソーシャルディスタンスの確保のため簡易テントを購入した。また、感染拡大防止の観点から炊出し等による食糧確保が難しいため、各利用者に配布可能なレトルト食品を購入した。これらの物品により有事の際の避難所運営における感染拡大防止の衛生環境確保に寄与した。	
10	確定申告会場環境整備事業	税務課	単独	各地申告の待合室での三密解消のため、呼び出しベルを整備し、来庁者に車内等で待機してもらい、感染リスクの低減を図る。	R2.9	R3.2	マスク・消毒液等の確保	1,386,000	924,146	461,854	対象：村申告会場来場者1963人 購入物品：リモートリプライコール(税抜き価格) 送信機 @50,400*1台=50,400 受信機 @18,200*60台=1,092,000 中継器 @42,000*1台=42,000 充電器 @12,600*6台=75,600	来場者1963人。申告相談会開催日19日間。1日あたり103人。 例年、申告会場(プレハブ会議室)に先着順で受付をしていたことから、長時間(1時間以上)に渡り、密な会場で待機していたが、車内等での分散待機が可能になったことで、会場での待機者がほぼ0に近い状態となり、コロナ感染のリスクが低減が図られた。	

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業 実施状況及び効果検証

No.	交付金対象事業の名称	所管課	補助単独	事業の概要						効果検証		備考
				目的	事業始期	事業終期	経済対策との関係	総事業費(実績額)	臨時交付金充当経費	一般財源補助金等	実績(活動)対象や経費内訳等の具体的な数値等	
11	障がい者施設等事業継続支援事業	福祉課	単独	新型コロナウイルス感染症の影響により、民間からの受注が減少した障がい者施設に対し、村が発注を行う事で施設の事業継続を支援する。	R2.9	R3.2	事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	299,200	199,498	99,702	対象：民間からの受注が減少した障がい者施設 対象施設に村より清掃業務等を委託 委託単価14,960円(1回あたり2時間以内) 支給対象：1事業所 支給金額計：@14,960×1×20回=299,200円	村が発注を行うことにより、対象となる障がい者施設の事業継続を支援することができた。
12	新生児応援臨時特別給付金給付事業	福祉課	単独	国の定額給付金の対象とならなかった新生児に10万円を給付金を支給し、生活安定を子育て支援の充実を図る。	R2.9	R3.3	生活に困っている世帯や個人への支援	11,800,000	11,800,000	0	対象：令和2年4月28日から令和3年3月31までに生まれた新生児。(令和2年9月30日時点で新生児が本村の住民基本台帳に登録されていること。令和2年10月1日以降に生まれた新生児は、申請時点で本村の住民基本台帳に登録されていること。) 支給対象：118名 交付金 @100,000×118名=11,800,000円	新生児の健やかな成長を応援するとともに、子育て世帯の支援をすることができた。
13	マスク配布事業	総務課	単独	感染症拡大防止のため、村民にマスクを配布する。	R2.4	R2.7	マスク・消毒液等の確保	22,000,000	14,668,989	7,331,011	対象：西郷村民 新型コロナウイルス感染症対策拡大防止のため、村民にマスクを配布した。 マスク購入費 40円×500,000枚×1.1 = 22,000千円	新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大に伴い、品薄状態により、入手困難となっていた不織布マスクを配布することにより、村民に安心感を与えるとともに、村内での感染拡大を防ぐ一助となった。
14	学校保健特別対策事業費補助金	学校教育課	国補助	村立小中学校における新型コロナウイルス感染症対策のための消耗品の購入。	R2.9	R3.2	マスク・消毒液等の確保	9,304,225	4,500,000	4,804,225	対象：西郷村内の小中学校 (1)感染症対策支援(物品購入経費) 7,450,432円 熊倉小：1,496,600円(感染防止用会議用机・椅子ほか) 小田倉小：1,174,794円(サーキュレーターほか) 米小：590,381円(サーマルカメラほか) 羽太小：531,828円(サーマルカメラほか) 川谷小：241,634円(サーモグラフィカメラほか) 西一中：1,399,985円(加湿空気清浄機ほか) 西二中：1,399,879円(サーマルカメラほか) 川谷中：615,331円(アルコール製剤ほか) (2)児童生徒の学習保障支援 (網戸設置、水飲み場水栓修繕) 1,853,823円 小田倉小：324,005円 米小：539,400円 羽太小：616,418円 川谷中：374,000円	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各学校の状況に適合した物品の購入及び密閉を避けるための網戸設置等により、感染症対策を徹底しながら学校教育活動を再開することができた。
15	公立学校情報機器整備費補助金(継ぎ足し単独事業)	学校教育課	単独	GIGAスクールに対応するためのタブレット端末等の整備、およびネットワーク環境の強化を行う。国庫補助対象とならない継ぎ足し単独事業分。	R2.9	R3.2	リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	82,003,914	54,677,935	27,325,979	対象：西郷村立小中学生 主な内容：タブレット端末(iPad)1658台 タブレット専用タッチペン 1693本 協働学習支援ソフト(xSymc)及びタブレットドリル(東京書籍)使用料	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、「GIGAスクール構想」におけるハード・ソフトを一体とした整備を早急に進めることで、感染症の発生等により学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全て子供たちの学びを保障できるよう環境整備に努めた。
16	西郷村「新しい生活様式」助成金	産業振興課	単独	「新しい生活様式」の実施を推進するため、取組を行う事業者に対し助成金を交付する。 基本的事項7項目(マスク着用、手洗い・手指消毒、消毒液の設置、室内・仕器の消毒、検温実施、換気、客席の間隔) 追加的事項(飛沫防止パーティション、電子決済、テイクアウト、デリバリー、客席減、テレワーク実施、時差勤務、来訪者の記録)	R2.10	R3.3	事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	43,892,346	29,266,198	14,626,148	対象：「新しい生活様式」の実践により感染拡大防止に取り組む村内の中小企業等 取り組みメニューに応じて最大20万円を給付する 実績：申請者：296件 交付金 @42,680,000円 事務消耗品費 @149,262円 印刷製本費 @130,284円 業務委託料 @932,800円	国・県が提唱する「新しい生活様式」の実践を推進する仕組みづくりを目的とした事業であったが、村内店舗及び事業所におけるクラスターの発生は確認されておらず、withコロナの社会情勢に合わせた労働環境、サービス環境の整備に寄与することができた。 また、西郷村商工会に業務委託を行うことで、行政と商工会の共同事業として村内事業者の支援を実現できた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業 実施状況及び効果検証

No.	交付金対象事業の名称	所管課	補助 単独	事業の概要						効果検証		備考	
				目的	事業始期	事業終期	経済対策 との関係	総事業費 (実績額)	臨時交付金 充当経費	一般財源 補助金等	実績(活動) 対象や経費内訳等の具体的な数値等		評価(成果)
17	新型コロナウイルス感染症対策給付金	総務課	単独	村民の感染予防対策、及び「新しい生活様式」導入をし支援するために、全村民に対して1万円を給付。	R2.10	R3.2	生活に困っている世帯や個人への支援	216,505,865	159,974,352	56,531,513	対象：西郷村民 村民の感染予防のための対策、及び「新しい生活様式」導入を支援するための給付金 需用費 封筒印刷 角2 8,500枚 長3 8,500枚 471,636円 役務費 返信用封筒通信費 1,435,178円 振込手数料 917,180円 交付金 給付金 10,000円×20,192人 = 201,920,000円	申請手続きを簡素化し、速やかな給付に努め、村民の生活や経済活動の支援の一助となり寄与できた。	